

との関係で考えると、ちゃんちゃらおかしい話なんです。だから国民の中で孤立させることです。小選挙区制度反対というたまたかいかいでは、弁護士会が保守も革新も何にも関係ない、全員一致で弁護士が先頭にたつてやってきた。「決議案」にある民主主義を守れという一致点でのたまたかいが本当に重要になってきていると思います。

自民党・公明党ですけど、公明党はここ一〜二週間、「こうもり政党」としての姿を浮き彫りにしています。民主党にすり寄るような質問や姿がありますし、委員会運営なんかでは「仁比さんの言うとおり」「共産党の言うとおり」と。

自民党の方は、新自由主義をめざす人たちの質問というのはそれなりに筋が通っていて元気がいい、まるで小泉・安倍の再来か、みたいな感じがしますけれど、多くの議員が支持基盤の崩壊に内心おのきなながら、どっちに行ったらいいのかわからないのかと混迷の度を深めてる。郵政法案で採決を迫られたら造反が起こるのが今の自民党が機械的な欠席戦術をとっている根本の理由ですから、きわめて混迷しているという感じがします。

● 値打ち浮き彫りに

「決議案」では、浮き彫りにできる新しい条件が生まれてくる参院選挙と見通してはいますが、どうすればこの先、建設的野党としての日本共産党の値打ちを広く浮き彫りに出来るか。

先日、国会で、違法派遣の問題で、熊本・人吉のNECコンダクターで、柴田君という青年をはじめとした3人の労働組合がたたかってきた問題を取り上げたんです。鳩山首相が「私としても積極的に動いてみたい」という答弁をして、その翌日にNECから県労連に電話が入って、「日経新聞と赤旗を見た。インターネットを見た。協議をしたい」というやりとりがはじまった。その質問傍聴を終えた彼が「赤旗」にコメントを書いていた。



参議院決算委員会で雇用問題で追求 = 2009年4月20日

ましたね。「わずか12分間くらいですけど、申告してから今までのことが思われて涙が出そうになった」と。これはみんなの力で開いた変化なんだという思いを持ってもらえたのは、ほんとに良かったと思います。

● 肝炎問題で申し入れ

肝炎の問題でも、臨時国会では基本法は提案しないという民主党にたいして、患者原告団は激昂して緊急集会を開いた。そこで彼女たちが訴えたのは、「もう私たちは民主党にお願いしませうといません。約束を守ってください。もし、臨時国会で法案を出さないんだつたら、民主党に対して闘争宣言を行います」。そういう決意だったんです。



肝炎対策基本法案の成立直後に開かれた報告集会で = 2009年11月30日

す。その集會に出ていて、この状況は重大だと穀田さんや高橋さんや小池さんと相談をして、緊急に穀田さんが山岡国対委員長に申し入れをしたわけです。高橋さんと僕で、厚労省の山井政務官に緊急に申し入れたわけですが、僕が山井氏に

言ったのは、「350万人の命を、先送りできるような課題だと思ったら大間違いだ。政権の命取りになる、それくらい覚悟したほうがいい」と伝えたくて、そこで局面が変わったんです。

● お礼の手紙もらい

院内集會の様子を関連団体がインターネットで流したようで、巻物の毛筆の手紙をもらいました。「院内集會で私たちの切羽詰った叫びをじつと聞いてくださり、かつ翌日には穀田共産党国会委員長より与野党協議がなされた」と、この知らせは患者の一人としてどんなにか勇気をいただけたことか心からお礼申し上げます。この女性に初めてお会いしたんですけれど、これまでは共産党が怖かったんだそうです。

こうした要求を迫って国会運営で実現に向けて動かす、その根本には要求をしっかりと受け止めて実現していく見通しや政策を持っているという値打ちがある、この役割を党全体のたまたかいに学んで、言葉にして発信していくことができるようにがんばらないといけないと思います。

日本共産党参議院議員・仁比そうへい（比例代表選出）1963年、北九州生まれ。京都大学法学部卒、弁護士。46歳。